

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

でんとうてき

ぎょうじ

げいのう

伝統的な行事と芸能

むしおくりきとう

虫送り祈祷

新見市

高総早倉矢井浅里笠
梁社島敷掛原口庄岡
市市町市町市町市



かんけい ばしょ
関係のある場所

いちおか あみだどう
・市岡阿弥陀堂



ぎょうじ

この行事について

むしおくりきとう いね がいちゆうくじよ ほうさくきがん あ えきびやうたいさん ばんみんかいらく いの
「虫送り祈祷」は、稲の害虫駆除と豊作祈願を合わせて、疫病退散・万民快樂をお祈りする
ぎょうじ いちおか あみだどう むしおくりきとう ほか なまえ どうようねんぶつ おおじゆず まわ
行事です。市岡阿弥陀堂の「虫送り祈祷」は、他の名前を「土用念仏の大数珠回し」といって、
にいみし いちおかちく ねん いじょうまえ つた まいとし がつ だい にちようび おこな
新見市の市岡地区に400年以上前から伝えられ、毎年7月の第4日曜日に行われています。
ぎょうじ ないよう ちよっけい おおだま こつな こ おおじゆず つく
行事の内容は、直径12～15cmの大玉を108個繋いで、10mを超える大数珠を作り、
かね ね あ おおじゆず と まわ なむあみだぶつ とな つづ
鐘の音に合わせてゆっくりと大数珠を止めることなく回して、「南無阿弥陀仏」と唱え続けま
ぎょうじ お ちくひと あおたけ さき わ きとうふだ はさ すいでん かわしも
す。行事が終わったあと、地区の人たちは、青竹の先を割って祈祷札を挟んで水田の川下に
む た がいちゆう かりゆう おほら いみ むしおくり よ
向けて立てます。このことが、害虫を下流へ追い払う意味があるため「虫送り」と呼ばれる
ようになったといわれています。